

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち				
	3 未来を担う子どもたちを育むまちづくり				
施策名	(1) 子どもたちの生きる力を育む教育の推進				
施策コード	1-3-1	施策構成	10 事務事業	決算額	1,406,576 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	教育環境が整っていると思う町民の割合	%
②	客観指標	全国学力・学習状況調査における国の平均正答率以上の教科の割合(学校教育課)	%
③	客観指標	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における国の平均値以上の種目の割合(学校教育課)	%
④			

アウトカム／成果目標の進行管理

	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	30.0	38.6	41.0	40.0	39.3	—	↗	—		
※ ②	75.0	50.0	75.0	100.0	100.0	—	87.5	—		
※ ③	50.0	50.0	89.3	68.8	50.0	—	75.0	—		
④										

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されませんでした。

■施策における総括

前年度までの課題	新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止策を実施しながら、教育施策を慎重に実施する必要がある。対策に必要な設備及び備品が必要である。また、未来を担う子どもたちがSociety5.0時代に適応するため学校の情報機器端末やICT環境の整備が急がれる。
今年度の取り組み(成果、効果)	クラス数の増加に伴う備品の購入や教室の改造を実施し、児童生徒の安全・安心な学習環境の整備を進めた。GIGAスクール構想による全生徒教職員分のタブレット、全クラス分の電子黒板・書画カメラの配置を行った。
次年度以降に改善すべき課題	引き続き、安心・安全で快適な学習環境のために、建物の増築や老朽化対策を行い、必要な備品や人材を確保することが課題である。新型コロナウイルス感染症の影響による児童・生徒の就学環境の変化に対して、必要な支援を行う必要がある。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。		②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。	○	③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。